



動画視聴スタイルに関する調査結果のお知らせ

一般社団法人デジタルライフ推進協会(代表理事:細野昭雄、略称:DLPA)は、会員企業の従業員および関係者に対して、テレビ放送、インターネット動画配信サービスの利用実態についてアンケート調査を実施しました。

【用語説明】

「リアルタイム視聴」… テレビ放送の番組をその場で視聴すること

「タイムシフト視聴」… 録画したテレビ番組を再生視聴すること

「ネット動画視聴」… ネットワークで配信された動画を視聴すること

【結果サマリー】

- (1) この1年間でテレビをリアルタイムで視聴する時間が減少したとの回答は42.2%にも上る。
⇒ タイムシフト視聴(録画視聴)やネット動画の視聴にシフト
- (2) 動画視聴に関する一番のお悩みは、「コンテンツのコピー・保存に関する制限事項」
- (3) より良い動画視聴ライフを提供するためには、「より簡単に」、「より快適に」利便性の向上が必要

■調査期間:2016年5月13日(金)~5月30日(月)

■調査方法:インターネット及び調査票を利用

■調査対象:DLPA 会員企業の従業員および関係者

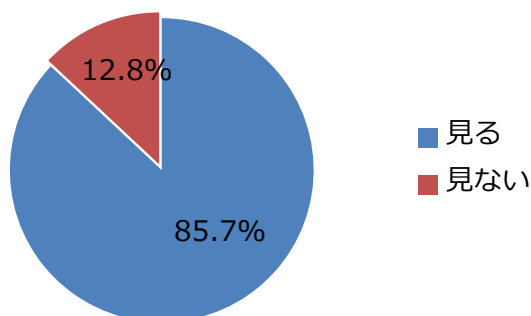
■調査対象者数:483名(男性:380人、女性103人)

年代 … 40代が35.4%、30代が32.7%、20代が19.9%、その他12%

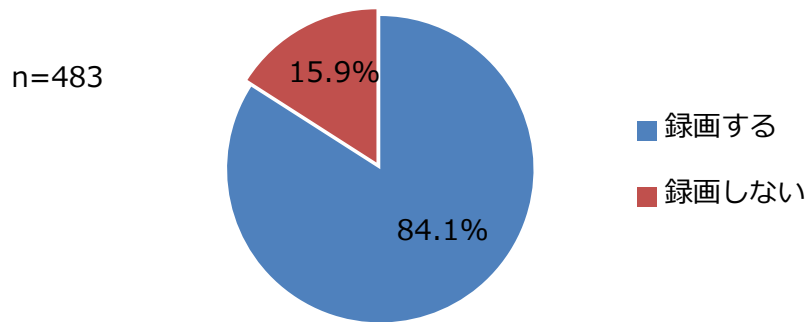
家族構成 … 2世代世帯が47%、単身が27.3%、夫婦世帯が16.8%、その他8.9%

▼設問① リアルタイムでテレビ番組を見ますか？

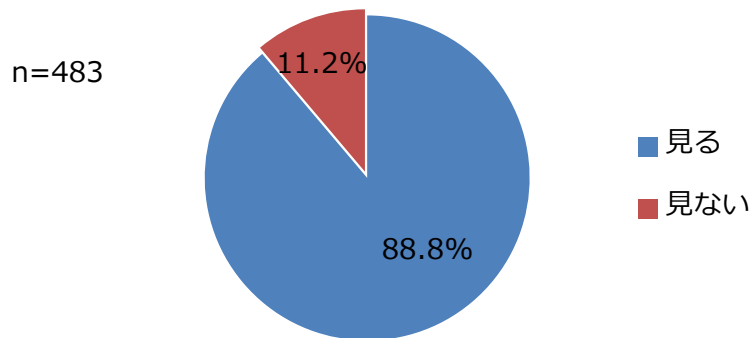
n=483



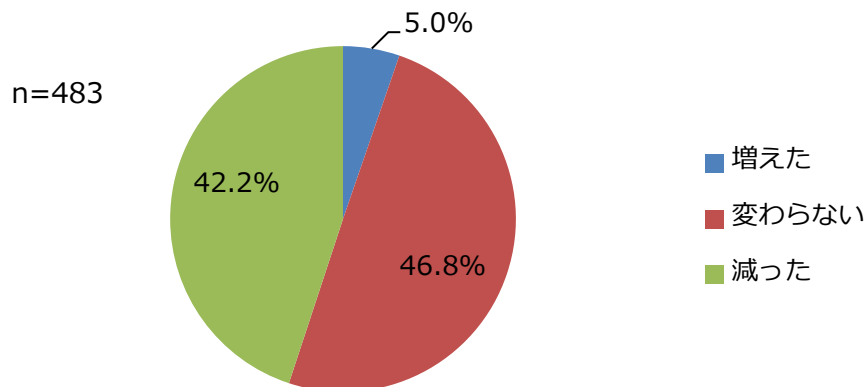
▼設問② テレビ番組を録画しますか？



▼設問③ ネット動画配信サービスを見ますか？

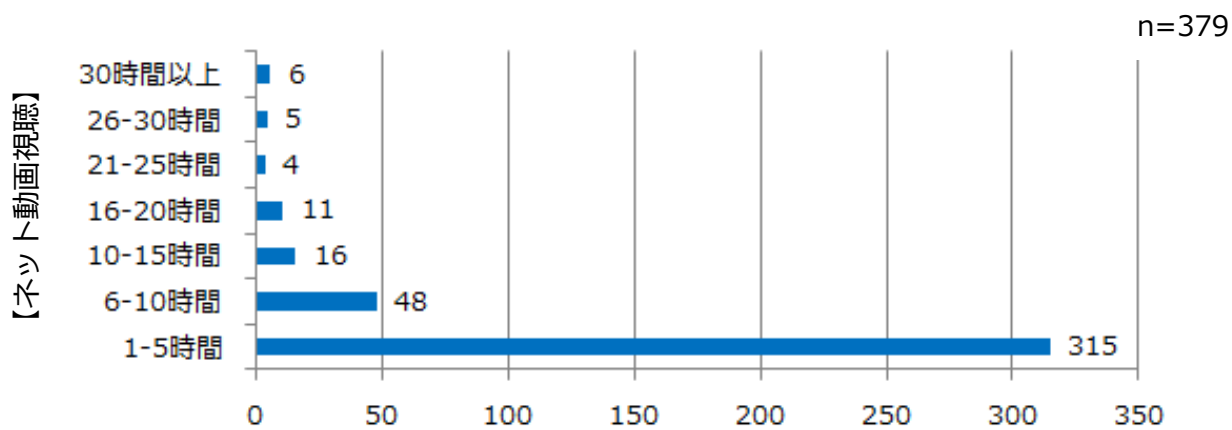
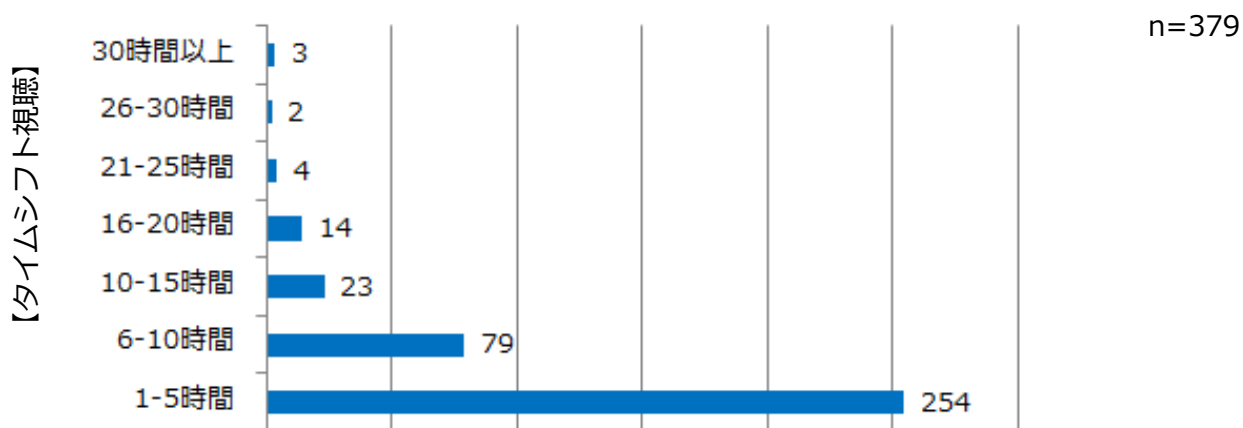
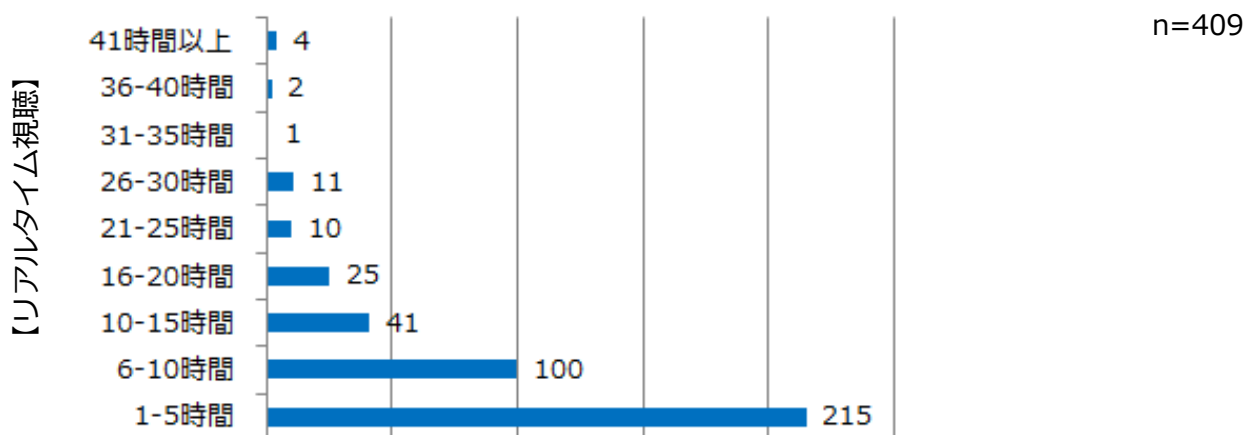


▼設問④ 1年前と比べてリアルタイム視聴時間は変わりましたか？



42.2%(182人)が減ったと回答。
その理由として、「タイムシフト視聴やネット動画視聴に変わった」が37%、「時間がない」が22%、「おもしろい番組がない」が18%だった。

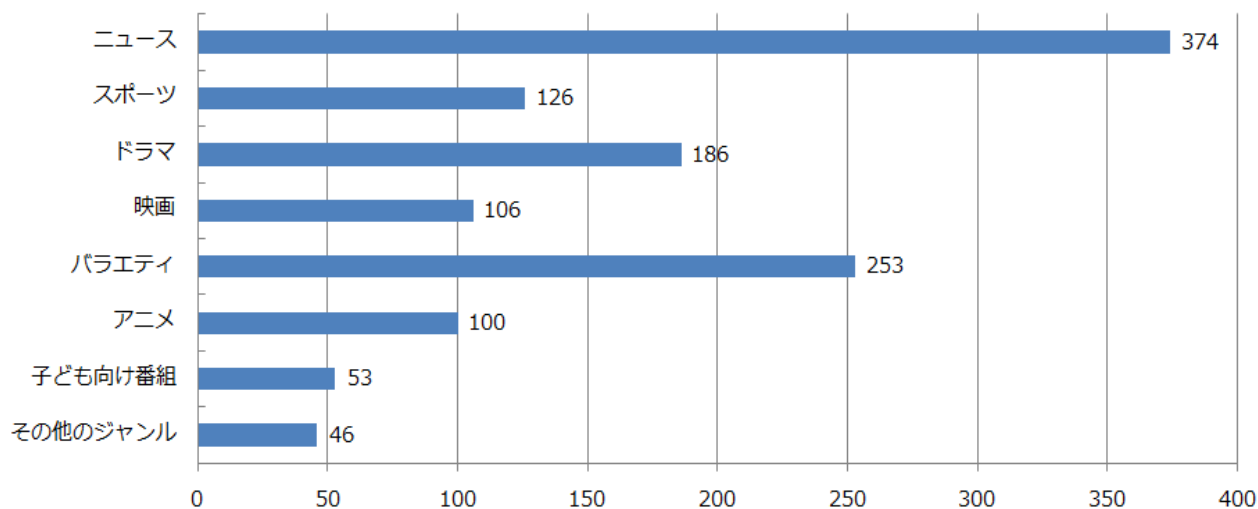
▼設問⑤ 視聴スタイル別 一週間の視聴時間



▼設問⑥ 視聴スタイル別 主な視聴番組のジャンル(上位3つ選択式)

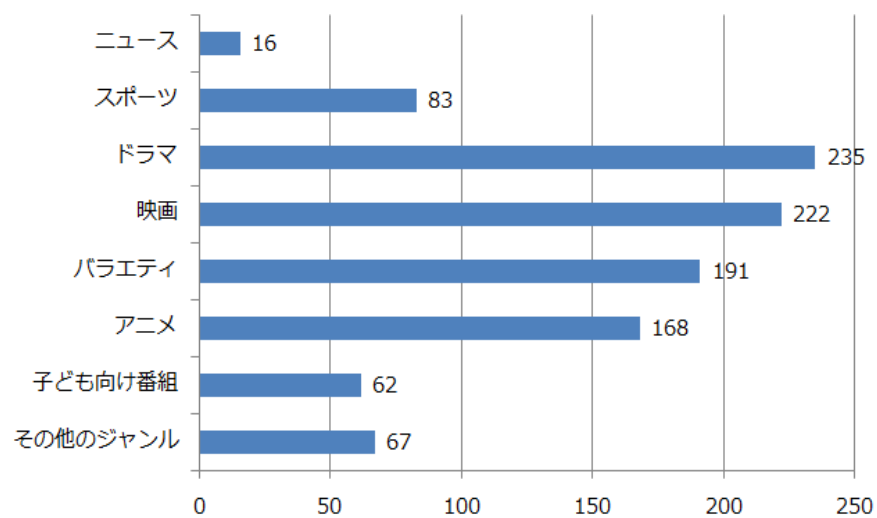
n=447

【リアルタイム視聴】



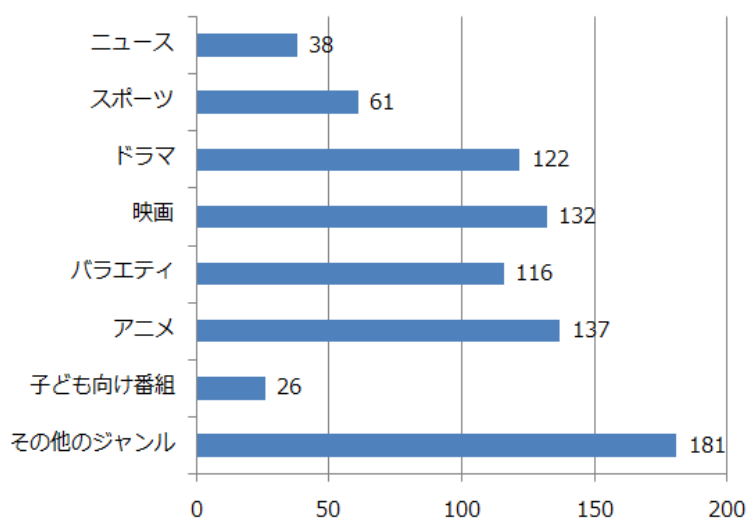
【タイムシフト視聴】

n=407

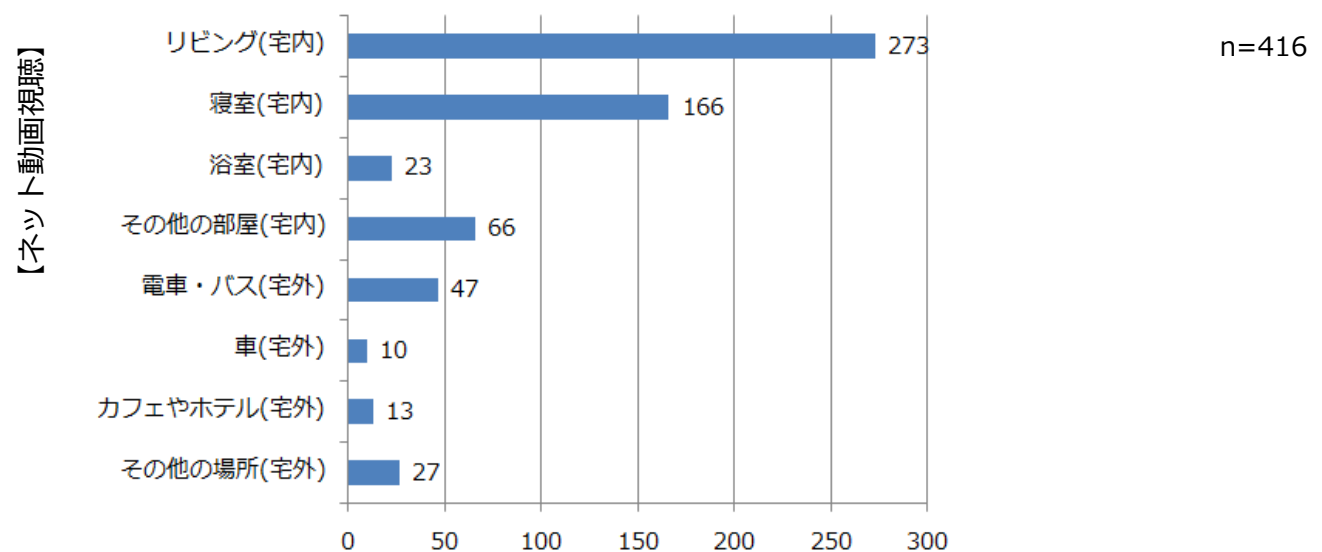
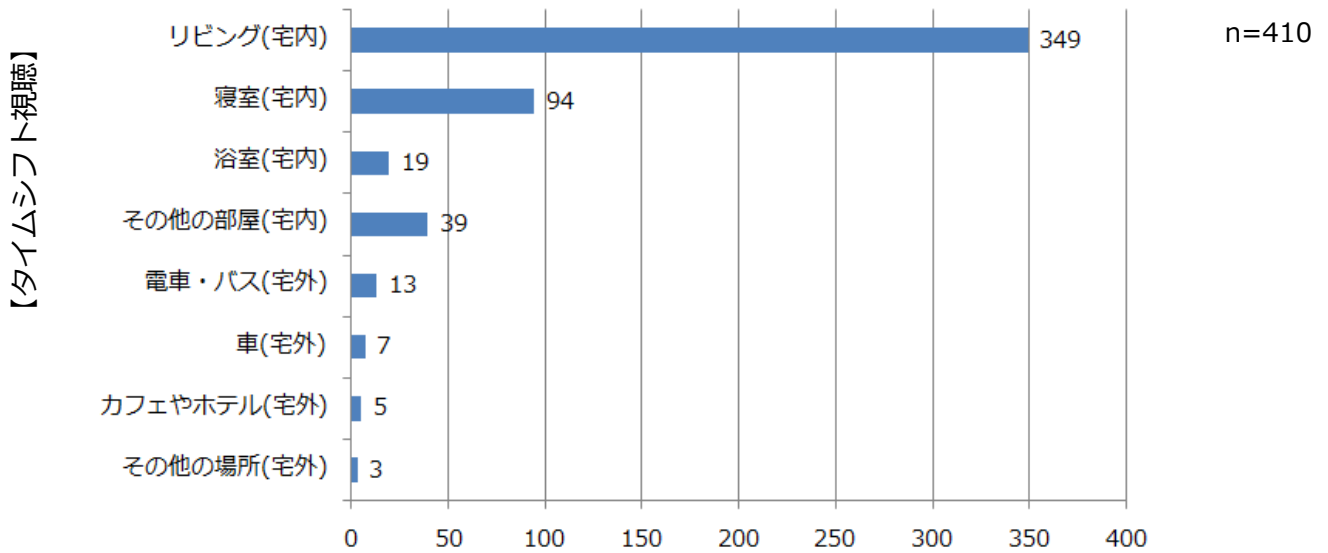
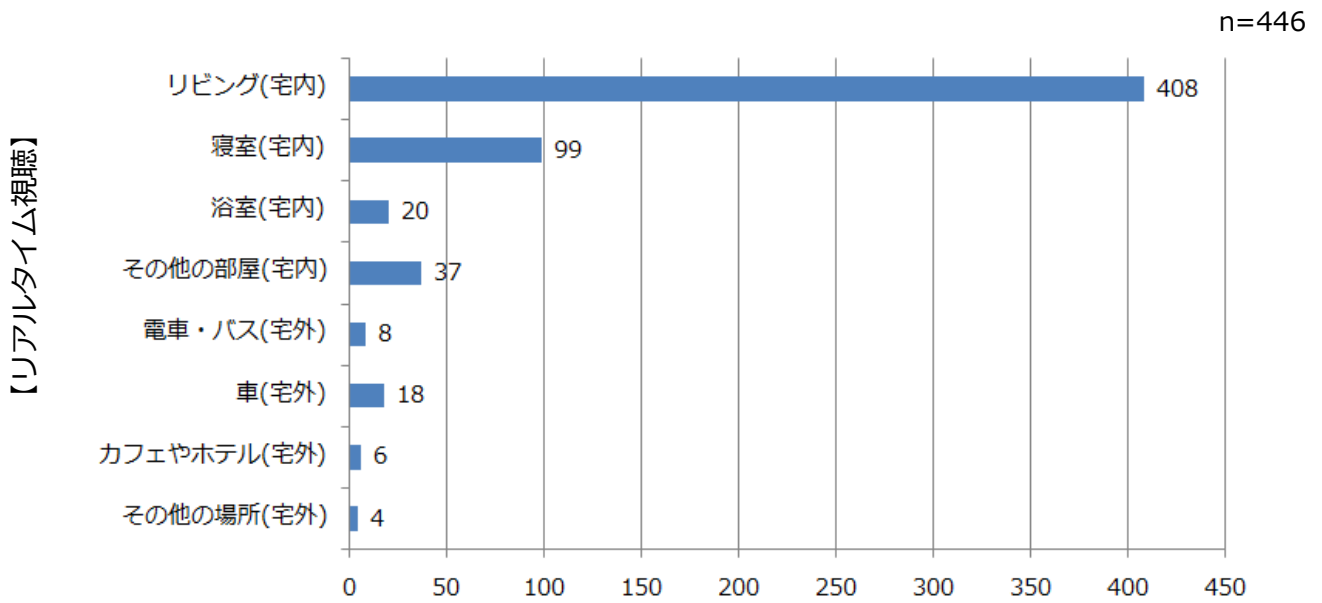


【ネット動画視聴】

n=416



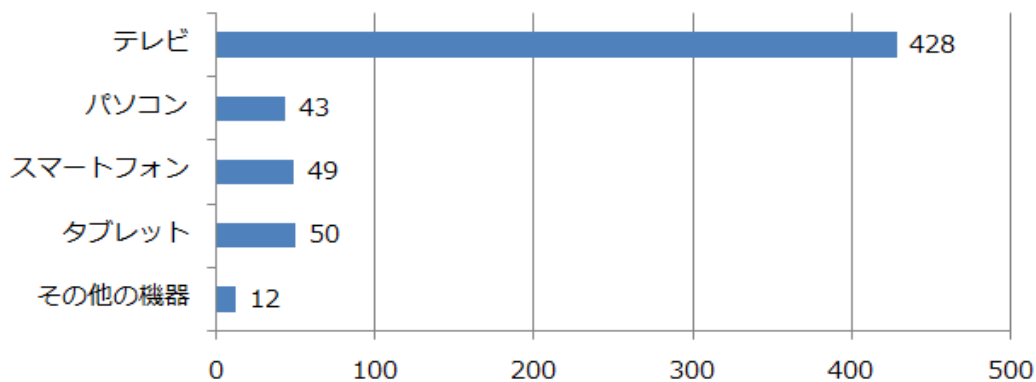
▼設問⑦ 視聴スタイル別 視聴場所(複数選択式)



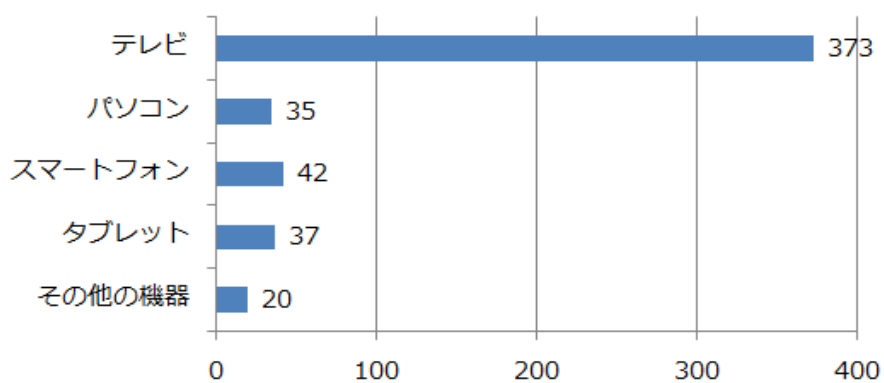
▼設問⑧ 視聴スタイル別 視聴機器(複数選択式)

n=446

【リアルタイム視聴】

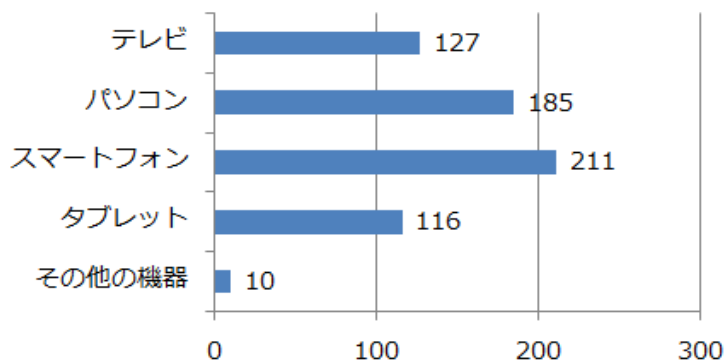


【タイムシフト視聴】



n=410

【ネット動画視聴】



n=416

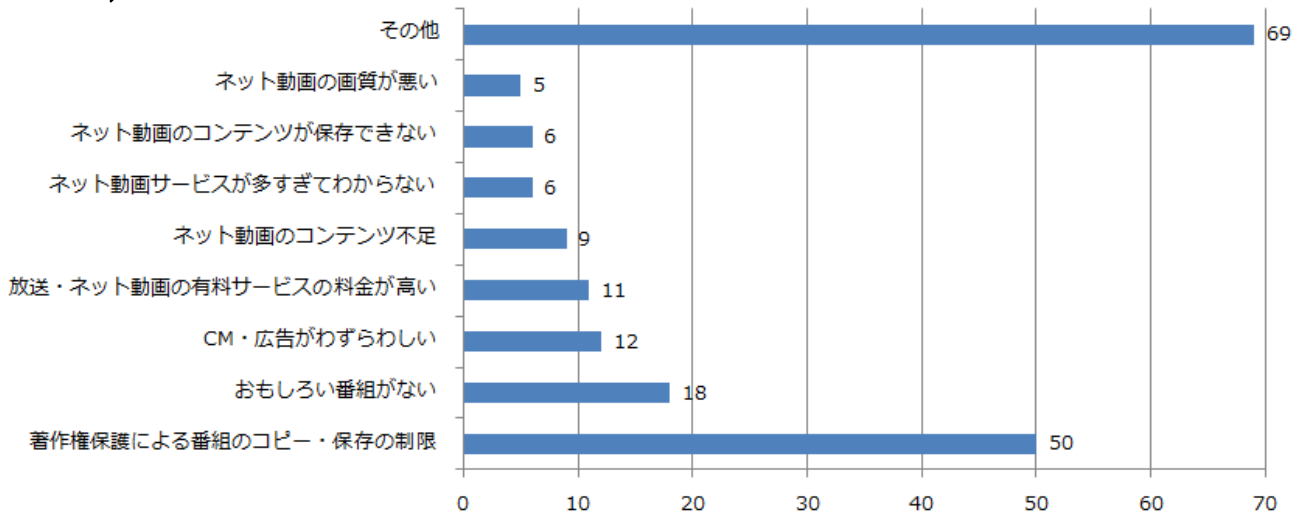
▼設問⑨ 各視聴スタイルにおけるお悩みや不満はありますか？(記述式)

何か悩み・不満を持っている・・・ 38.5% (186人)



【分類別 集計結果】

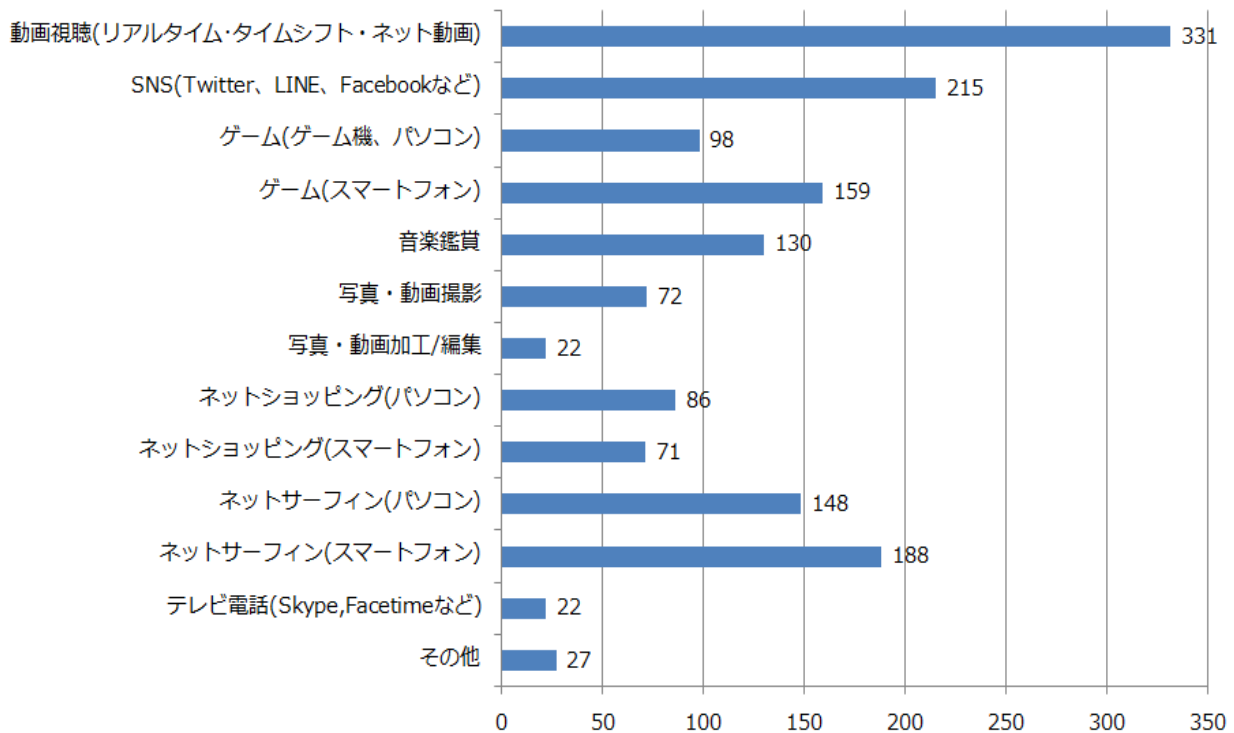
n=186



多種多様な悩みごとの中で、もっとも多かったのは「著作権保護による番組のコピー・保存の制限」だった。コンテンツを保存する主な目的として「タイムシフト視聴」と「コレクション」の2つがある。多くのコンテンツがあるが、サービスが複数あり一元管理されていないため、見たいコンテンツがあっても視聴するまでの手順が複雑であったり、視聴期間に制限があったりと、ユーザーが求めている「好きな時に好きな番組をみたい」という環境には至っていない。

▼設問⑩ 日々の生活の中、主に時間を使っているデジタルライフは何ですか？上位3つ

n=483



デジタルライフの中心は「動画視聴」。また今までパソコンで行っていたネットサーフィンやショッピング、ゲームなどはスマートフォンへシフト。スマートフォンはデジタルライフのマストアイテムとして活用されている。本アンケート実施後に、位置情報利用ゲームが人気となりさらにスマートフォンを利用する機会が増えていると予想。

【まとめ】

1日24時間という限られた時間の中、多くのユーザーは動画視聴、SNS、メール、ゲーム、電子書籍など優先順位をつけながら、日々のデジタルライフを過ごしている。

動画を視聴しない・視聴時間が減った理由として「時間がない」という回答が目立った。情報過多のこの現代だからこそ、“時間”にとってもシビアであり、見たいコンテンツが「いつでも、どこでも、すぐに視聴できる環境」が求められている。

DLPAでは、録画したコンテンツを外出先から視聴する「リモートアクセス視聴」の普及に取り組んでまいりました。引き続き、より快適な動画視聴ライフの提案を目指し活動してまいります。

DLPA (Digital Life Promotion Association) とは

デジタル技術の進歩により可能となる、新たなデジタル技術の活用形態を「デジタルライフ」と位置付け、そこでの利用者の利便性を守り、その健全な発展に寄与することを目的に平成22年2月に設立。デジタルライフの普及・促進および啓発活動や、デジタルライフの実現に伴う基準・規格・ガイドラインの提案などを行う。

< 報道関係者様からのお問合せ先 >
一般社団法人デジタルライフ推進協会 (株メルコホールディングス内)
[電話] 03-3523-3367 [メール] info@dlpa.jp